

世界シェア第2位の光コネクタメーカー 拡大する需要に対応して生産性向上

同社は東京三田で創業し、旧電電公社の電話機を雷から守る雷防護装置（保安器）を製造してきた。その後、2016年10月に本社を東京から製造拠点が石川県に移転し、光通信関連製品などの開発・製造に注力している。また、石川県工業試験場や北陸先端科学技術大学院大学と連携し新たな事業（熱電素子開発）にも取り組む。

●所在地	石川県金沢市鞍月2丁目2番地 石川県繊維会館1階
●電話/FAX	076-255-2875/076-255-3495
●URL	https://www.hakusan-mfg.co.jp/
●代表者	代表取締役社長 米川 達也

●設立	1947年
●資本金	10,000万円
●従業員数	101人



データセンタに不可欠な世界トップレベルの光コネクタ製造

同社の光関連製品は、高度なプラスチック成型技術を用いた光ケーブルを接続するコネクタである。特に北米を中心とするIT企業のデータセンタ内の機器を繋ぐ際に用いられ、世界シェア第2位を誇る。光ケーブルの接続では、光が通過する穴の精度がサブミクロン（1/10ミクロン）単位で求められ、同社は世界最高の低接続損失レベルである。最近のコネクタへのニーズは、「より小さくより大容量かつ高速の通信を可能にすること」で、同社はさらなる高い成型技術の実現に向け、金型の開発などにつとめている。



プラスチック成型技術を用いた光コネクタ

海外ユーザーとの直接取引の確立と、海外展開体制の構築

光通信のニーズは、光通信回線から、巨大なデータセンタ内の光配線、装置間等をつなぐ光伝送路へと、その応用分野が加速度的に広がりつつある。現在の光コネクタの同社の世界シェアは25%で第2位であるが、シェア拡大に向けて、国内商社経由の海外（米、欧）展開だけではなく、海外ユーザーへの直接販売ルートの確立とユーザーニーズ把握を進めている。海外展開のさらなる強化のため、元JETROの職員を採用し海外展開の専任として体制を構築している。



データセンタ内の光配線

需要拡大に対応するため、工場をIoT化し生産性を向上

世界的な需要拡大に伴い、同社のコネクタ需要は増加しており、生産工場をIoT化して生産効率を高めている。生産工場では、現在13台の製造機械で約70万個/月のコネクタを製造しているが、全ての機械にセンサーを取付け、それぞれの機械の稼働時間や生産個数、トラブルの有無をモニタリングできるようにした。その結果、従来5～6人配置していたオペレーターを2人まで削減でき、これらの削減人員を検査業務などの必要な工程に配置することで生産性が大きく向上している。



生産工場をIoT化